

# 社会資本総合整備計画書 (愛知県豊橋市)

平成30年3月 (当初)  
平成31年1月(第1回変更)

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成31年 月 日

計画の名称	豊橋市における総合的な津波対策の推進 (防災・安全)										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成30年度 ~ 平成31年度 (2年間)					交付対象	愛知県 豊橋市										
計画の目標	<p>本市は、愛知県の東部に位置し、南は太平洋、西は三河湾に面し、豊川、豊川放水路、柳生川、梅田川などの河川が三河湾に注ぎ込んでいます。本市が平成26年8月に公表した「南海トラフ地震被害予測調査結果 (理論上最大想定モデル)」では、市域の大半で最大震度7、最大津波高は太平洋岸で19メートル、三河湾側で2.9メートルであり、市西部の三河湾や河川沿いの低地では津波による浸水や液状化現象の発生危険度が極めて高いと予想されています。今後、南海トラフの巨大地震が発生した場合、地震動及び津波による建物被害や津波被害、地震火災など、甚大な被害が予想されます。また、本市は「東海地震に係る地震防災対策強化地域」、「南海トラフ地震防災対策特別強化地域」及び「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」の指定地域となっています。</p> <p>これまで、本市は地震・津波に係る防災対策事業を中心に推進してきましたが、今後は地域強靱化の視点を踏まえた防災・減災対策を推進する必要があります。このような状況の中で、本計画では対策が急務となる、津波避難施設の整備、避難者対策等を推進し、災害に強い都市を目指します。</p>																
計画の成果目標 (定量的指標)	<p>・梅敷地区における津波防災センターの整備により一時避難困難者数180人 (H29末) から0人 (H31末) へ改善</p>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)		最終目標値 (H31末)			
											180人	180人		0人			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	227.9百万円	A	227.9百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)						
<b>交付対象事業</b>																	
A1 都市防災事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H30	H31	H32	H33	H34				
A13-001	都市防災	一般	豊橋市	直接	豊橋市	都市防災総合推進事業 (梅敷町・梅敷西町全域)	津波防災センター整備	豊橋市						227.9	-	-	
小計 (都市防災事業)												227.9	-	-			
C 効果促進事業																	
C1 都市防災事業効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H30	H31	H32	H33	H34				
小計												0.0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)	7.30	129,000			
計画別流用 増△減額 (b)	△ 2.03	△ 44,104			
交付額 (c=a+b)	5.27	84,896			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	5.27	84,896			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

